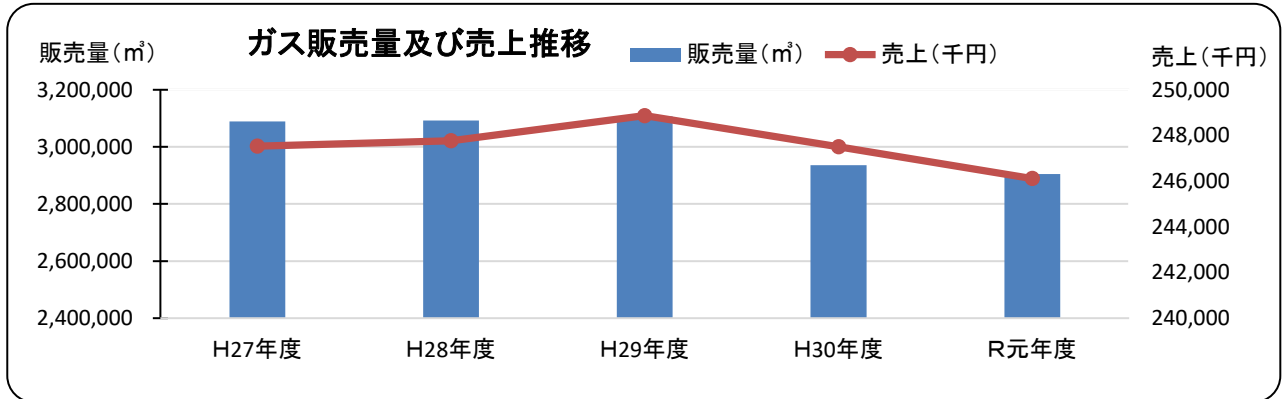
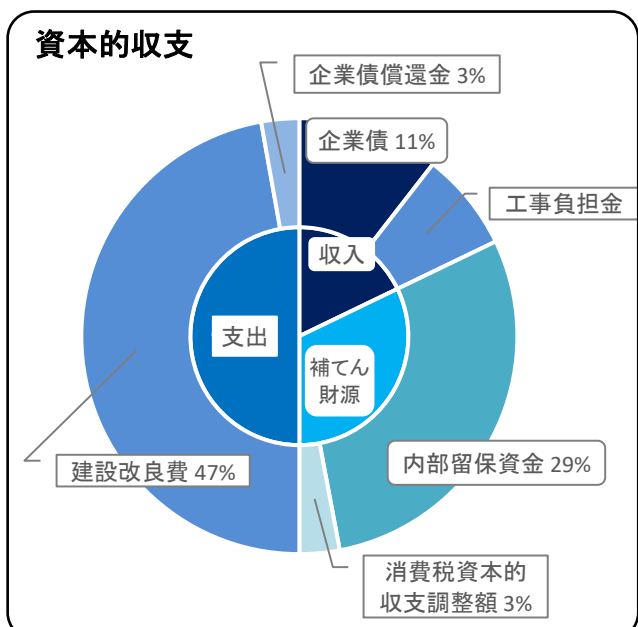
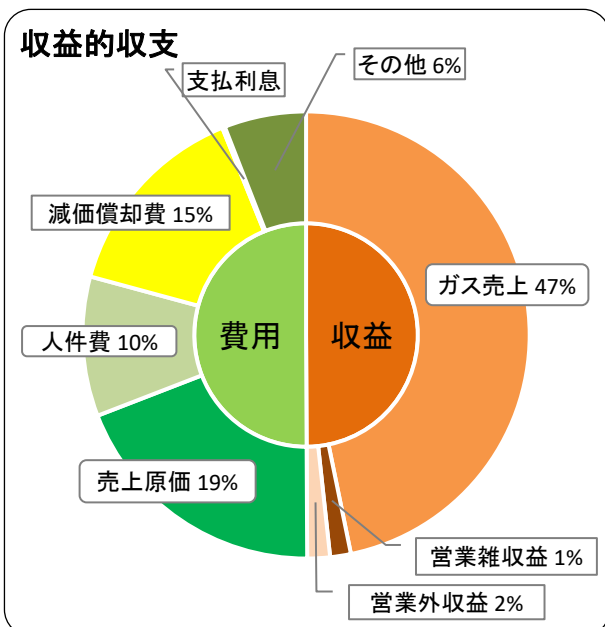


令和元年度白子町ガス事業特別会計決算概要

事	業	概	要
・ 年度末需要件数	2,911件【年間累計数:34,966件】	(対前年度 5件減少、年間累計 91件減少)	
・ ガス販売量(9,200kcal)	2,904,911m ³	(対前年度 31,002m ³ 減少)	
・ ガス導管延長	120,510.5m	(対前年度 43.8m増加)	
・ 供給管本数	3,280本	(対前年度 19本増加)	



収	支	予算額 (A) 千円	決算額 (B) 千円	増減額 (B)-(A)	対前年度比 (%)
収益的収支(税抜)					
	ガス事業収益	286,707	262,613	▲ 24,094	▲ 1.2%
	ガス事業費用	292,541	263,459	▲ 29,082	▲ 0.8%
	当年度純利益(損失)	—	(846)	—	▲ 463.1%
資本的収支(税込)					
	資本的收入	50,196	50,964	768	167.9%
	資本的支出	149,387	142,781	▲ 6,606	114.8%
	差引不足額	—	91,817	—	▲ 2.3%



収 支 概 要

収益的収支(税抜)において、ガス事業収益は、順調に推移していたガス売上であったが新型コロナウイルス感染拡大による商業用途でのガス売上が減少した影響が大きく 262,613千円(前年度比 ▲1.2%)でありました。

また、ガス事業費用は、多発する自然災害での復旧費等及び老朽化設備の更新に伴う減価償却費が増加しており、経営効率化努力等を反映してもなお費用が収益を上回り 263,459千円(前年度比 ▲0.8%)でありましたことから純損失 846千円を計上しました。

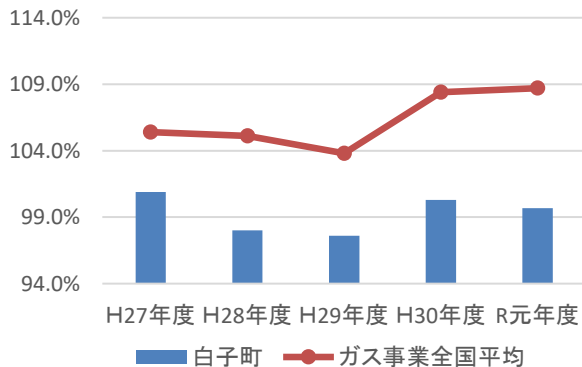
なお、損失額 846千円は繰越利益剰余金 1,009千円にて補てんし、補てん後の残額 163千円を繰越利益剰余金としました。

資本的収支(税込)からは、資本的収入にて茂原白子バイパス建設事業に伴う工事負担金が増加した影響から 50,964千円(前年度比 167.9%)、対する資本的支出は、安全安定供給に向け老朽管の入替えを進め 142,781千円(前年度比 114.8%)となり、発生する不足額 91,817千円を消費税資本的収支調整額及び内部留保資金にて補てんしました。

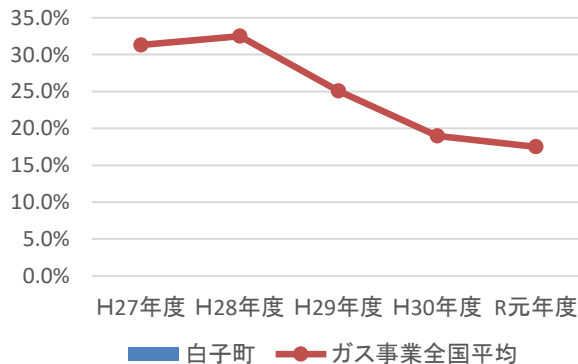
剰余金処分	減債積立金	利益積立金	建設改良積立金	繰越利益剰余金
R元年度期首残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	1,009千円
当年度変動額	0千円	0千円	0千円	△ 846千円
R元年度期末残高	13,250千円	75,000千円	107,841千円	163千円

財務分析指標

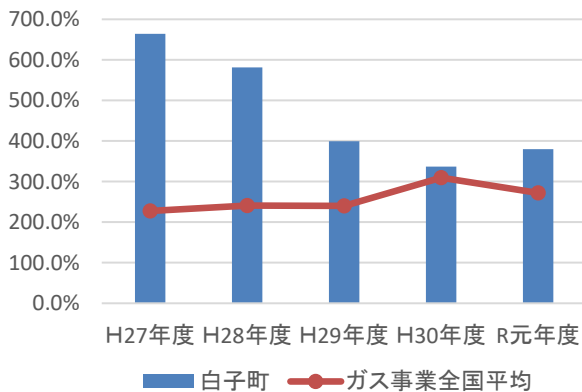
経常収支比率



累積欠損金比率



流動比率



企業債残高対料金収入比率

